

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	笠鉾会館ドリームホール	所在地	須坂市大字須坂410－1		写真	
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化スポーツ課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	1213.32			
居住誘導区域	○	防災関連施設	○			
設置根拠	須坂市立博物館条例	設置の目的・経緯	市民文化の向上に資するため		交通アクセス	須坂駅から徒歩で10分
事業内容	須坂市の文化財を調査・収集し、各種文化財	貸付の有無	無			
管理運営の状況	直営	委託内容				
備考（その他特記事項）						

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	3	地下	-	建築面積		延床面積	1213.32
構造 (主たる建物)	RC造			建築年度 (主たる建物)	1995	築年数 (主たる建物)	30	
帳簿原価	515,695,500				耐震化の状況		新耐震基準施設	
減価償却累計額	276,710,299				バリアフリー対応		○	
老朽化率	54.0%				省エネルギーの対応状況		風除室の設置	
過去10年の改修費用	78,738,000				施設の劣化状況			
維持管理・更新投資の充足度	28.5%							

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2023	2024	2025	3年間の平均値
	人件費	6,976	5,607	8,131	6,905
	委託料	4,419	2,752	1,190	2,787
	光熱水費	3,297	3,132	2,384	2,938
	維持補修費	121	299	8	143
	減価償却費	11,339	11,339	11,339	11,339
	指定管理料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	費用合計	26,152	23,129	23,052	24,111
収入	利用料等収入	120	117	92	109.7
	国庫補助金等収入	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0.0
収入合計		120	117	92	109.7

収支	-26,032	-23,012	-22,960	-24,001
利用者一人当たりコスト	5.62	4.29	2.84	3.98

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用	笠鉾会館空調設備等改修工事（設計・監理・工事）123,645,000円			

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されていない	
開館時間	平日	午前10時～午後4時
	休日	午前10時～午後4時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	4,657	5,388	8,131	6,059	34%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	笠鉾会館ドリームホール
---------	-------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
合計		-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館稼働率			
合計		3	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
合計		4	

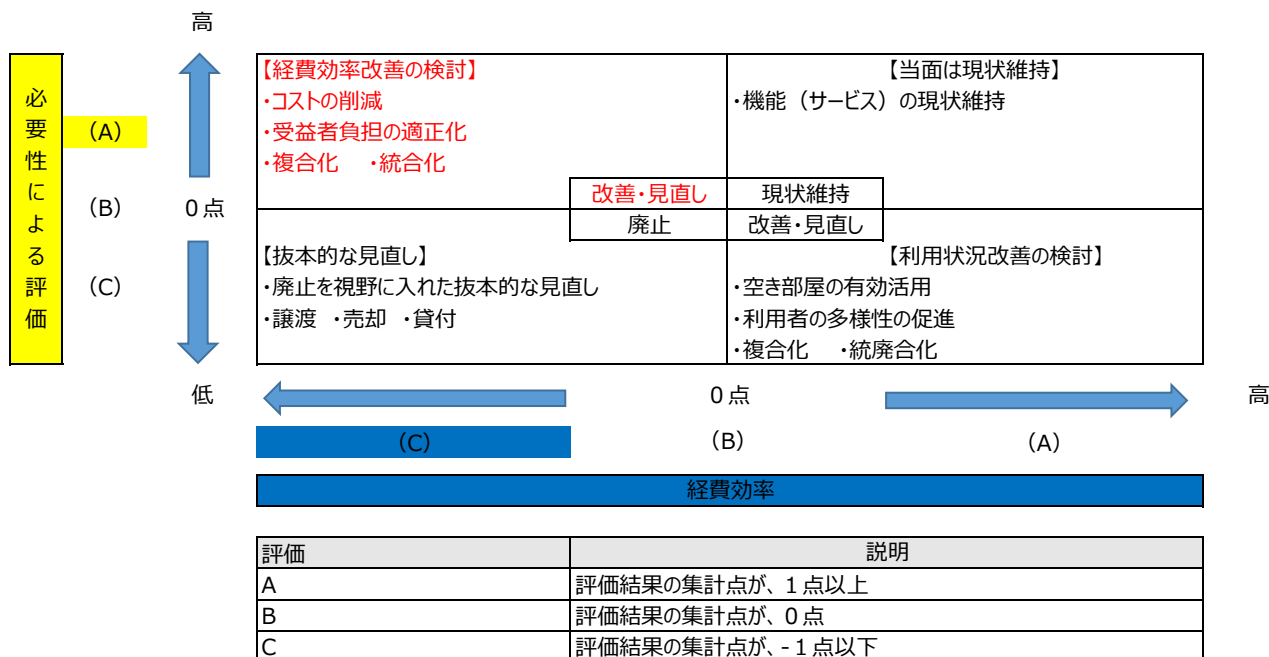
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	3
合計点数		1

【経費効率改善の検討】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	4
縦軸	必要性和経費効率からの評価	1
合計点数		5

【当面は現状維持】

